



避難の準備や避難のタイミング



Language

豪雨時の避難の準備や避難のタイミングは、気象情報が基本

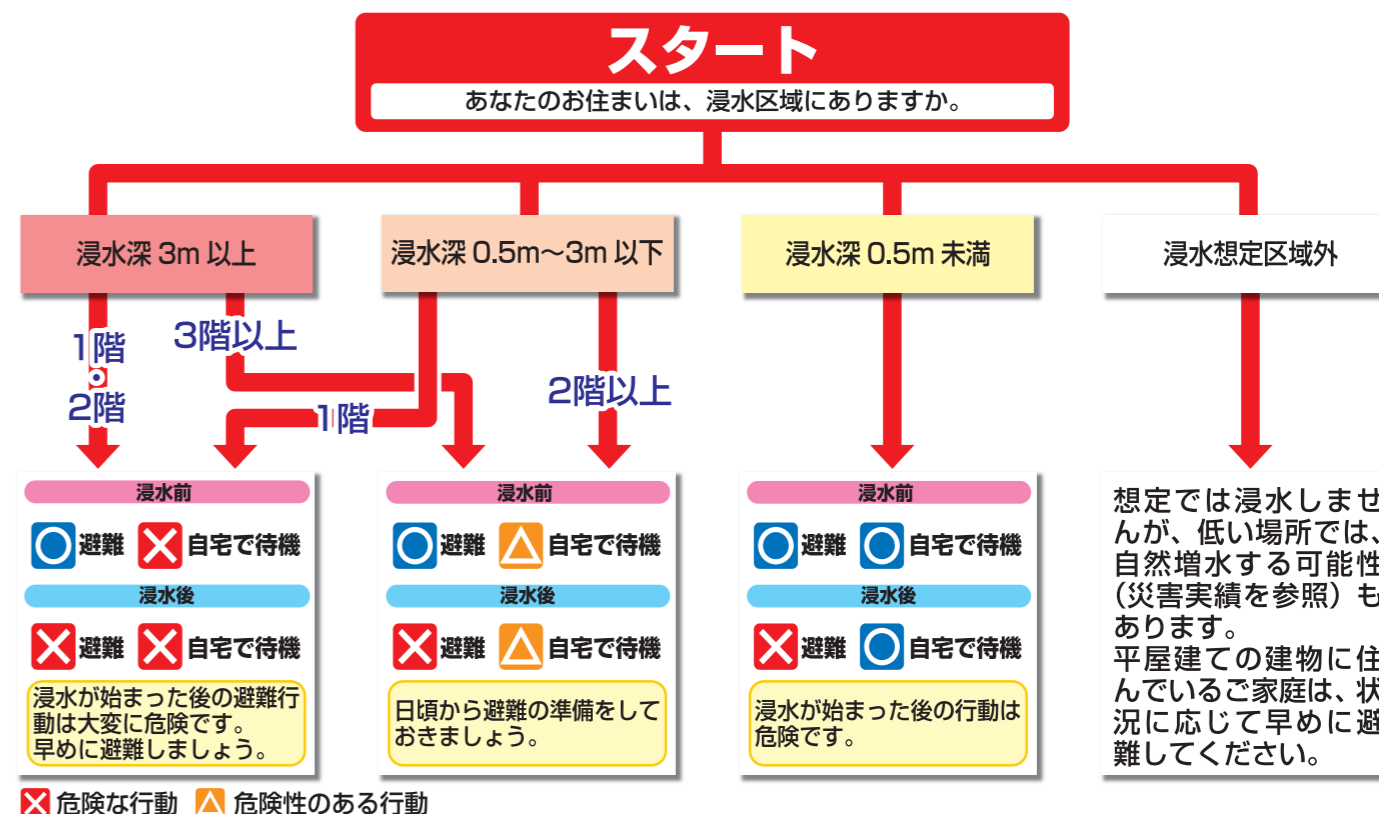
警戒レベル	注目すべき気象情報 (警戒レベルに相当する情報)	マイタイムライン	
		住民等が取るべき行動	避難のスイッチ・避難行動の基準
警戒レベル 5	大雨特別警報 (土砂災害) 大雨特別警報 (浸水害) 氾濫発生情報	命を守るため 最善の行動	避難のポイント(②洪水 ④がけ崩れ、土石流、山崩れ ⑤ため池決壊) 浸水の可能性のある土地に住んでいる人は、河川から離れ、上階に行くこと。 土砂災害の避難では、避難できる余裕があれば、避難。しかし、避難する余裕がなく、すでに周囲に土砂の流入や浸水が始まっていれば、覚悟を決めて、助かる可能性がある家の上階、山や崖の反対側に行くなど、「命を守る最善の行動」をします。
警戒レベル 4 全員避難 避難勧告・避難指示(緊急)	土砂災害警戒情報 高潮特別警報 高潮警報 氾濫危険情報 危険度分布 (非常に危険、うす紫)	三豊市からの避難勧告・避難指示(緊急)の発令に留意。 避難勧告が発令されていなくても危険度分布や河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断。	④ がけ崩れ、土石流、山崩れ ③ 高潮 ③ 高潮 ② 洪水 上記危険箇所の住民(ハザードマップで確認できます)は、災害危険度の分布状況や河川の水位、沿道の浸水状況に注意しながら、避難勧告あるいは避難指示(緊急)の発令段階には、「避難のタイミング」を用いて、早目に災害の危険性が少ない場所へ移動する避難を開始してください。
警戒レベル 3 高齢者等は避難開始	大雨警報(土砂災害) 洪水警報 高潮注意報 氾濫警戒情報 危険度分布(警戒、赤)(上記の情報に係る範囲が赤色で着色)	三豊市からの避難準備・高齢者等避難開始の発令に留意。 危険度分布や河川の水位情報等を用いて、高齢者等の方は、支援者等の協力を得て、避難行動を判断。	④ がけ崩れ、土石流、山崩れ ⑤ ため池決壊 ① 内水(浸水実績) ② 洪水(中山間地等では、④がけ崩れ、土石流、山崩れの危険区域を含む ※1) ③ 高潮 ② 洪水 上記危険箇所(ハザードマップで確認できます)の高齢者等住民は、「避難のタイミング」を用いて、事前に調整した支援者の協力も得ながら、河川の水位や沿道の浸水状況に注意しながら、避難を開始してください。
警戒レベル 2 避難行動の確認	氾濫注意情報 大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 危険度分布(注意、黄)	テレビ・ラジオ等で危険度分布を確認 避難のスイッチを入れる ハザードマップ等により、避難先、避難経路を確認	① 内水(浸水実績) ② 洪水 ① 内水(浸水実績) ④ がけ崩れ、土石流、山崩れ ① 内水(浸水実績) ② 洪水 ③ 高潮 上記の危険箇所(ハザードマップで確認できます)の住民等は、「避難のタイミング」を用いて、安全な避難先や避難経路を確認する。
警戒レベル 1 心構えを高める	早期注意情報(警報級の可能性)	テレビ・ラジオ等で、気象情報入手 本表の「マイタイムライン」や「三豊市民の避難行動」をチェック	洪水や土砂災害のハザードマップを見て、自宅からの避難経路上に、下に示した①から⑥に関するどのような危険性があるのか、該当するものすべてに○を付けて下さい。同じように、警戒レベル2~5でも、レベル1で○をつけた同じ番号全てに○をつけ、その左隣の気象情報もマジックペン等で囲んでください。 ①内水(浸水実績) ②洪水 ③高潮 ④がけ崩れ、土石流、山崩れ ⑤ため池決壊

・暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。
 ・夜間~翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。
 ※1 洪水ハザードマップの浸水想定区域以外でも、山間部の幅の狭い谷底平野等の川の流れの速いところでは、氾濫流や河岸侵食により家屋の流失が想定される場合には命に危険が及びます。
 (気象庁HP https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/ame_chuui/ame_chuui_p8-2.html)

洪水時の避難のタイミング

あなたのお住まいに該当する項目をご覧ください。

この図は、大雨や台風における避難行動の参考にするために作成しました。



土砂災害警戒区域における避難の呼びかけ

次の流れ図に従い、関係住民に呼びかけを行います。

